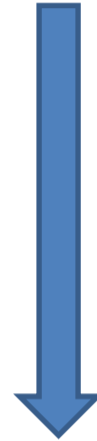


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	労働技術協力等促進費	事業開始年度	昭和47年度	作成責任者		
担当部局庁	職業能力開発局	担当課室	海外協力課 外国人研修推進室	外国人研修推進室長		
会計区分	一般会計	上位政策	2国間の国際協力を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算措置	関係する計画、通知等	政府開発援助アジア労働技術協力費等補助金交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際協力の一環として、開発途上国における将来の生産現場での指導者層を招へいして、日本の生産現場を活用した技能等の移転を行うことにより、当該国の人づくりに貢献する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	開発途上国の民間企業において「テクニシャン」と呼ばれる在職労働者を招へいし、入国直後の3か月間に日本語研修の他、我が国の生活習慣、労使慣行や安全衛生に関する教育(座学)を実施する。その後、6か月間、民間企業の生産現場において、ものづくりの基礎、品質管理、生産・工程管理、労務管理等の職場実習訓練を実施し、将来当該国の生産現場において指導的立場に立つ労働者の養成を目指す。					
実施状況	平成21年度は、9カ国から88名を招へいし、3か月間の集合研修(日本語研修の他、我が国の生活習慣、労使慣行や安全衛生に関する教育(座学))を実施後、19社の民間企業の生産現場においてものづくりの基礎、品質管理、生産・工程管理、労務管理等の職場実習訓練を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	135	127	109	76	0
	執行額	135	127	104		
	執行率	100.0%	100.0%	95.4%		
	総事業費(執行ベース)	287	263	209		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 各年度の事業開始前には、事業の実施要領を承認する過程において事業の内容の点検をしている。 事業終了後には精算報告書により補助金の用途及び実施した事業内容を確認している。 入国直後の3か月間の日本語研修の終了時に、研修生の日本語成果発表会に参加し、職場実習訓練を行うことができる日本語能力を習得したかを確認している。 				
	見直しの余地	行政刷新会議による「事業仕分け」において、本事業は「廃止」と判定されたことを受け、平成22年度末で廃止することとしている。				
予算・監視の効率化	労働技術協力等促進事業については、事業目的が十分に達成されているとは言い難く、廃止も含めた事業の抜本的な見直しが必要である。					
補記						

厚生労働省
104百万円

国際協力の一環として、開発途上国における将来の生産現場での指導者層を招へいして、日本の生産現場を活用した技能等の移転を行うことにより、当該国の人づくりに貢献する。



【補助】

A. (財)日本ILO協会
104百万円

開発途上国の民間企業において「テクニシャン」と呼ばれる在職労働者を招へいし、入国直後の3か月間に日本語研修の他、我が国の生活習慣、労使慣行や安全衛生に関する教育(座学)を実施する。その後、6か月間、民間企業の生産現場において、ものづくりの基礎、品質管理、生産・工程管理、労務管理等の職場実習訓練を実施し、将来当該国の生産現場において指導的立場に立つ労働者の養成を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

A.(財)日本ILO協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
研修生招へい 旅費	来日及び帰国航空運賃	3			
研修生滞在費	研修生に対する研修手当支給、宿泊、食 事代(オリエンテーション期間中)	66			
実地研修費	研修生の実地研修費用	22			
謝金	日本語講師ほか	7			
人件費	非常勤職員	3			
物品購入・印刷 経費	事務用消耗品、印刷経費	1			
借料及び損料	研修生移動用バス代	1			
その他	職員旅費、通信運搬費他	1			
計		104	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)